

資料 1

第 1 回滋賀県障害者施策推進協議会における意見への対応

意見内容	対応
<p>< 追加資料 ></p> <p>応援プロジェクトの進捗状況の把握が必要</p>	別紙 1
<p>地域ごとの進捗状況の把握が必要</p>	別紙 2
<p>就労の実態に即した検討が必要</p>	別紙 3
<p>当事者や事業者ヒヤリングし、課題を抽出すること。</p>	別紙 4
<p>< 全般的事項 ></p> <p>障害者虐待防止対策、地域生活へ移行や一般就労への移行、学校教育、バリアフリーについて、実態を踏まえ、具体的な議論が必要</p>	現状と課題の< 共生社会 > 課題 2 ア、< 暮らす > 課題 1、< 働く・活動する > 課題 1、< 自立生活 > 課題 1 工、2 アにそれぞれ盛り込み
<p>地域移行にあたっては、地域の理解が今もハードルであり、地域をどうつくるかがキーワードとなる。</p>	基本理念< 2 つの起点 > イに盛り込み
<p>計画を実行できる連携体制などの仕組みづくりが大切</p>	「はじめに」に「5 計画の推進体制と進行管理」を設け盛り込み
<p>行政の縦割りではなく、横断的な連携が必要</p>	基本理念< 2 つの起点 > アを設け盛り込み
<p>県の役割として医療と福祉の連携、人材育成は重要</p>	医療福祉の連携について基本理念< 2 つの起点 > アを設け盛り込み。人材育成について現状と課題< 自立生活 > 4 に盛り込み
<p>< 現状と課題 暮らす ></p> <p>グループホームなど地域生活を送る人の障害が重くなったときなど、入所施設は必要</p> <p>入所施設は一定必要。入所施設の役割を明確化する必要がある。</p>	現状と課題< 暮らす > 課題 1 イに盛り込み
<p>精神のグループホームを増やし、訪問看護、居宅介護を入れて支援していくことが必要</p>	現状と課題< 暮らす > 課題 4 アに盛り込み

意見内容	対応
増加する特別支援学校の児童、生徒に対応するため、受け皿整備が必要	現状と課題<暮らす>課題2アに盛り込み
難病患者についても支援が必要な人を支援できるよう、谷間のない制度が必要	現状と課題<暮らす>3アに盛り込み
<p data-bbox="261 618 676 651"><現状と課題 働く・活動する></p> <p data-bbox="284 685 898 786">必ずしも一般就労だけを目指すのではなく、その人にあった日中活動の場が用意されていることが必要</p>	現状と課題<働く・活動する>課題3ウに盛り込み
<p data-bbox="284 819 898 909">障害のある人も例えばアートに関わるものなど、いろいろなバリエーションのある働き方を提供すべき</p>	現状と課題<働く・活動する>課題3イに盛り込み
<p data-bbox="261 981 592 1014"><現状と課題 自立生活></p> <p data-bbox="284 1048 799 1081">東日本大震災を踏まえ、防災対策が必要</p>	重点プロジェクトのエおよび現状と課題<自立生活>2イに盛り込み
<p data-bbox="261 1243 592 1276"><現状と課題 共生社会></p> <p data-bbox="284 1310 898 1469">障害の個別性、多様性が実際に障害程度区分に反映されているのか問題。障害程度区分ごとにどのような生活実態があり、その実態に見合ったサービスが提供されているのか。統計データの的なものがあれば。</p>	障害程度区分については、障害者総合福祉法に向けた議論の中で取り上げられており、現状と課題<共生社会>1アを盛り込み
<p data-bbox="284 1514 898 1570">相談支援事業について、報酬単価など、安定した運営ができるようにすることが必要</p>	現状と課題<共生社会>課題1イに盛り込み